

3782-0101 アポロ フィッティング用 アジャスタブル パターシャフト 取扱説明書



クラブ長さを変化させることが可能な、中長尺パター用シャフト・キットです。クラブ・フィッターにとっては、クラブ長フィッティングに役立つ可変長の中長尺パターを、ゴルファーにとっては、短くすることで持ち運びに便利な中長尺パターを組み立てる際に、お使い下さい。

※ご使用前に、必ず、本書を最後までお読み下さい。

〔組立方法〕

Step 1: グリップの装着

本製品では、バット側を切断する必要はありませんので、そのまま、好きなグリップを装着して下さい。2ピースタイプのグリップを装着する場合は、2つのグリップの間隔を1.5インチ(38.1mm)以上離して下さい。溶剤を使用した場合は、完全に乾かして下さい。

Note 1: パターヘッドは、形状の違いや、ネックの有無が、クラブ長さに大きく影響します。そのため、本製品をヘッドと接着する前に、以下の手順に従い、使用するヘッドに合わせて、シャフト長を調整して下さい。

本製品には、組立後のパタークラブとしての長さを示す目盛が、カップリング部直下に表示されています。使用するパターヘッドとグリップ装着済シャフトを仮組みし、バット端のグリップエンドから、シャフト軸線を延長した線とパターがソールする接地部との交点までの距離をルーラー等で計測します。

例えば、カップリング部直下の目盛表示が40インチで、ルーラーで計測したグリップエンドから計測した仮組みクラブの長さが42インチだった場合、実測値と、表示値に2インチの差異が生じていますので、シャフトのチップ端を2インチ短く切断してから、ヘッドに組み付けます。本製品には、チップ端にパラレル部(=太さが変化しない部分)が、7インチありますので、殆どのパターヘッドに対応することが可能です。

Step 2: ヘッドとシャフトの接着

パターヘッドとシャフトのチップを接着します。必要に応じて、ヘッド側・シャフト側接着部の清掃、表面粗しを行って下さい。シャフト上の目盛を構えた時に見えない位置に調整することも可能です。接着剤が硬化したら、フィッティング・クラブの完成です。

〔パタークラブ長のフィッティング〕

Step 3: 付属のレンチを使用して、カップリング部を反時計回りに回し緩めます。レンチにある2つの突起と、カップリングの2つの穴を噛み合わせて回しますが、破損を防ぐため、しっかりと噛み合わせた状態で回して下さい。

Step 4: カップリングを緩めると、シャフトの長さを変化させられますので、フィッティングを行うプレイヤーに実際に構ってもらい、構えに合わせて、適切なクラブ長さに設定します。本製品の調整可能幅は、クラブ長で38~52インチですので、カップリング下部にそれぞれの表示が出たら、それ以上は動かさないで下さい。

Step 5: 適切なクラブ長さが決まったら、その時の目盛を読み取ります。

Step 6: シャフトの上部(グリップエンド側)を時計回りに回して、長さを固定します。長さがStep 5で読み取った数値から変化していないか、確認しながら、グリップの向きにも注意して固定して下さい。最後に、付属レンチでカップリングを締め込み、しっかりと固定します。

Note 2: 本製品を使用して組み立てられたクラブは、ゴルフ規則に適合しませんので、公式競技等では、使用することが出来ません。また、カップリングを締め込んだ状態であっても、強い負荷がかかると急にシャフトが縮んで事故につながる可能性もありますので、クラブに寄りかかる等の動作は行わないで下さい。

